

●自然体験⑬



自然環境を活用した基地づくり

概要

限られた材料と自然物を活用しグループで協力しながら
基地づくりに取り組む

人数

- ・1グループ6人程度
- ・何人でも

対象

- ・小学生～

実施期間

- ・春～秋

所要時間

- ・90分～120分程度



活動場所

- ・風のはらっぱ、テントサイト

指導のねらい

- ・自然の中で活動したい
- ・仲間と一緒に作り上げる達成感を感じられるようにしたい
- ・主体性・協調性を育みたい
- ・体力や忍耐力に自信がもてるようにしたい

活動のながれおよび留意点

【事前準備】

- 事前活動(15～30分程度)
- ・想定の話
- ・相談タイム
- ・安全管理等
- ※ 別紙 I 参照

【当日】

- ・活動場所グループで決める
- ・基地作り
- ※別紙 I 参照

準備物品

- 【山の家で貸出可能なもの】
- ・ブルーシート(2m×2m)・はさみ
- 【団体で準備するもの】
- ・PPロープ、ゴミ袋、布巾

備考

札幌市林間学校運営会作成

春～秋

自然環境を活用 した基地づくりの プログラミング



【活動概要】

限られた材料と自然物を活用し
グループで協力しながら基地づくり
に取り組む

所要時間：1時間30分～2時間

1 活動によって見込める効果

2 活動に必要な道具

3 活動のポイント(事前活動)

4 活動のポイント(当日)

5 安心・安全な運営の工夫

1 活動によって見込める効果

こんな取組がしたいときに

- ・自然の中で活動したい
- ・仲間と一緒に作り上げる達成感を感じられるようにしたい
- ・主体性・協調性を育みたい
- ・体力や忍耐力に自信がもてるようにしたい

#創意工夫

#仲間づくり

#造形活動

#合意形成

etc ■ ■ ■

2 活動に必要な道具

【山の家から借りる】

- ・ブルーシート(サイズ約2m×2m) : 目安 1グループ 2～3枚
- ・はさみ : 目安 1グループ 2本

※はさみはPPロープを切る用として使用。ブルーシートは再利用するため切らない。

～借用品等の留意点～

- ・返却時は借りた時よりもきれいにする
- ・使ったものは元に戻す
- ・自然は傷つけない
- ・ごみは持ち帰る

【学校で準備】

- ・PPロープ : 1グループ 1巻
- ・ゴミ袋・布巾 : 適宜

※ブルーシートが濡れた場合、水分をふき取る必要あり

3 活動のポイント(事前活動)

★学校での事前活動(15～30分程度)

(1) 想定の話(15分)

「どのような状況」で基地を作るのか等の説明を行い、基地をつくりたいという思いを喚起する。

【例】もし山で遭難したら... 誰にも見つからない秘密基地を作るなら... 等

(2) 相談タイム(5分)

当日活動するグループごとにどのような形の基地を作るのか等、簡単に相談する時間を設ける。

(3) 安全管理等(5分)

- ・安全指導 →ハチ、うるし、ぬるで、ダニ(活動後のダニチェック含む)等について。
- ・自然に対する指導 →生き物を大切にする(採取・採集しない)。ごみを残さない。

4 活動のポイント(当日)

★当日の活動(準備・片付けを含め1時間半～2時間程度)

- ・活動場所はグループごとに選ぶ(車両が通る園路は使わない)
 - ・基地の完成を目指して作業する中で、事前活動で話し合ったものと別のアイデアが出たときは、状況によって計画を修正するなど、臨機応変な対応を子どもが自己決定できるよう支援する。
 - ・ロープワークの指導は敢えてせず、ロープの結び方も自由にする(聞かれたら二重縛りを教える)
- ⇒結果的に箱型、三角、細長い形など、様々な形の基地ができていく。
- ⇒完成後は全体交流等を行い、他グループの良いところを見つけたり、自分たちのおすすめポイントを話す時間を設ける。

◎アイデアを出し合い自分たちで作り上げていく姿
◎友達同士で価値付け合う姿

～指導のポイント～

教師は環境を整え、見守り、

「信じて待つ」の心を

- ほとんどのグループは最初はどうもいらない
- 活動が止まってしまったグループには、「どうすればうまくいきそう？」と投げかけ、子どもたちの自己決定を支援する

- ・「適度な難易度設定」で、児童に「ゆとり」と「自由度」が生まれるようにする。
- ・途中、適宜休憩を設定する。
- ・できた形を全て価値付ける。
- ・完成したグループには、「さらによりよい基地にするためにはどうすればいいかな?」と声掛けする。

～留意点～

- ・借りたもの、周辺の木々は傷つけないこと
- ・活動後は元の状態に戻すこと

5 安心・安全な運営の工夫

★活動場所について

パターン① 風のはらっぱで実施



適切な場所を
選択するためのポイント

- ・児童数
- ・活動の導線
- ・児童の実態
- ・プログラム全体の流れ
など

パターン② テントサイトで実施



5 安心・安全な運営の工夫

★教員の配置イメージ 3クラス(1学級30人)、どんぐり広場での活動を想定

- ・プログラム担当教員は全体を見る役割、エリア巡回を5名で配置。
- ・1グループ6人程度、1学級5グループ、計15グループ

【教員の役割分担】

○プログラム担当教員1人(巡回)

⇒ 全体のエリアを巡回しながら必要に応じて子どもたちを支援する

○担任外1人(どんぐり広場で全体を見る)

⇒ どんぐり広場で全体を見ながら必要に応じて支援する(物品の管理なども)

○担任2人(各エリアを担当)

⇒ 担当のエリアを巡回しながら子どもたちを支援する

○管理職1人(巡回または本部)

⇒ 巡回し子どもたちに声をかけながら子どもたちの様子を見守る

○養護教諭1人(巡回または本部)

⇒ 巡回しながら子どもたちの様子をチェックする

※児童に体調不良者がいる場合、管理職または養護教諭が1減になることも想定される。

※配置イメージ



別添：展開例

基地づくり(夏) プログラム細案(例) 1クラス 30 名、3 クラスを想定 めあて： 風や雨などから身を守る基地をつくろう

時程例	活動時間	活動内容	ねらい	留意点
14:00	15分	物品準備 ブルーシート...1人1枚 計90枚+α(山の家から借用) はさみ...1人1個 計90個+α(山の家から借用) PP ロープ...グループ1個 計 15 個+α(持参)		準備：〇〇先生、△△先生 児童引率：各担任+□□先生 ・トランシーバー持参 ・移動前にトイレの声掛け (即時評価) 身支度チェック忘れずに！ ・長袖・長ズボン・帽子 ・軍手・首にタオル・水筒
14:15	15分	移動		
14:30	10分	基地づくり：風のはらっぱ 説明(簡単に) トイレの場所も	【取組のねらいの確認】 進んで取り組む 友達のよさを認め合う	* テントサイトも可 ・トイレはどんぐり広場の先の施設または山の家を使う。 (できれば複数人で)
14:40	35分	作業開始		・委ねられるところは児童に任せて活動の中での価値づけをする ・早く終わったグループは他グループとの交流や記念写真撮影を行う。 ※児童の活動状況によっては前倒しも視野に入れておく
15:15	15分	休憩タイム		
15:30	20分	基地づくり発表会・体験会	自分たちの工夫を伝える 他グループと互いの工夫を認め合う	・発表会を通した他己評価
16:00	15分	後片付け開始 ※借りたものはきれいにし戻す	活動の振り返り	・振り返りでしっかり価値付け ※「楽しかった」で終わるのではなく、「どこが楽しかったのか」 「なぜ楽しいと思えたのか」を問い、子どもが活動を通して得たものを具体化する。
16:15		後片付け終了・振り返り		